

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 1340020 _ 001

【1.基本情報】

事業名	東部クリーンセンター旧粗大ごみ処理施設解体及び跡地整備事業				
担当部名	環境部	担当課名	環境施設課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	令和2年度～令和4年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【2.事業概要】

事業の目的	東部クリーンセンター旧粗大ごみ処理施設を解体し、解体跡地の効率的な土地利用に資することを目的とする。				
事業の内容	東部クリーンセンター新粗大ごみ処理施設の整備完了に伴い、旧粗大ごみ処理施設の解体及び跡地整備を行う。				
事業の対象	何を	一般廃棄物の処理			
	誰に	岐阜市民			
	どのくらい	延床面積 4,253㎡			
令和3年度(実施内容)	令和3年3月に締結した解体工事の本契約に基づき、工事を令和4年3月に完了した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	-		16,900	520	16,796	520
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	-		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	-		0		0	
計(A)	-	-	16,900	520	16,796	520

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	0	257,970
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	解体工事		0	257,970
	跡地整備		0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
			0	0
計(D)=B+C		-	0	257,970

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	16,900	274,766

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	-	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	16,900	274,766

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	-	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	-	408,109	406,407
受益者負担額(千円)	-	0	0
受益者負担率(%)	-	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	-	41	676

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	旧粗大ごみ処理施設解体及び跡地整備		単位	m ²
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	4,253	4,253	
実績値	-	0	0	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	復旧施設の処理能力		単位	t/日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	-	30	30	
実績値	-	0	30	
達成状況	—	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	①旧粗大ごみ処理施設の解体及び跡地整備は急務である。 ②粗大ごみの処理は、基礎自治体の責務であり、市が主体的に進める必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	①解体跡地を整備することで、東部クリーンセンターの効率的な土地利用に資する。 ②安全かつ安定した粗大ごみ処理を確保するためには、他に方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	解体跡地の整備により、東部クリーンセンターの土地利用の効果が得られる見込みである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全市民を対象とした解体跡地の整備により、市民への公平性は高いものである。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	解体跡地の有効利用に向け、旧粗大ごみ処理施設の解体及び跡地整備を行う。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 1340020 _ 002

【1.基本情報】

事業名	次期クリーンセンター整備事業				
担当部名	環境部	担当課名	環境施設課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成15年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	市内で発生する一般廃棄物は、掛洞プラント及び東部クリーンセンターの2施設で処理している。このうち昭和45年稼働の掛洞プラントは、稼働から40年以上経過し、老朽化が顕著となってきている。そこで、新たなクリーンセンターを建設し、一般廃棄物の安定的な処理を継続することを目的とする。				
事業の内容	循環型社会に適合する処理技術を導入し、環境への負荷の低減、エネルギーを有効利用できる新たなクリーンセンターの建設を検討する。				
事業の 対象	何を	一般廃棄物の安定的な処理			
	誰に	岐阜市民			
	どのくらい	処理能力 350t／日程度予定			
令和3年度 (実施内容)	次期クリーンセンターの建設候補地を有する合渡地区の理解が得られるよう、自治会連合会を窓口として協議を実施。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	26,520	780	25,350	780	25,194	780
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	26,520	780	25,350	780	25,194	780

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	基本計画策定	3,047	4,532	0
	事業用地の選定	256	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,303	4,532	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	29,823	29,882	25,194

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	1,015	1,510	
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	1,015	1,510	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	28,808	28,372	25,194

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,970	408,109	406,407
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	70	70	62

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	新ごみ焼却施設基本計画策定、建設候補地用地測量	単位	計画、業務
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1、-	1、1	1、1
実績値	0、0	0、0	0、0

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	基本計画の策定、用地測量の実施	単位	計画、業務
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1、0	1、1	1、1
実績値	0、0	0、0	0、0
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	①掛洞プラントは、稼働開始から40年以上経過しており、安定したごみ処理業務を継続するため、新施設の建設は必要な事業である。 ②一般廃棄物の処理は、基礎自治体の責務であり、市が主体的に進める必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	①次期クリーンセンター完成後は、安全かつ安定した一般廃棄物の処理に大きく寄与できる。 ②広域的視点として、岐阜羽島衛生施設組合の次期クリーンセンター建設事業が進行しており、従来のごみ処理3箇所体制の継続を行う予定。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	次期クリーンセンター完成後は、安全かつ安定した一般廃棄物の処理が確保され、十分な効果が得られる見込みである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	次期クリーンセンターの建設は、全ての岐阜市民にとって利益のあるものである。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	一般廃棄物の処理を継続的・安定的・確実にを行うため、引き続き市が主体的に新施設の整備を進める必要がある。